

音読は学力アップに役立つ

一模擬試験偏差値 55 以上・60 以上と定期テスト 100 点を
目指すなら、スラスラ言えるようになるまで「音読練習」を一

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：開倫塾ではいつも音読の話をしませぬ。なぜですか。

A：(林明夫：以下省略)

- (1)開倫塾に入塾した人で、学力、つまり模擬試験の偏差値や学校の定期テストの点数を上げたくない人はいないと思います。ただ、現実には厳しいもので、同じ開倫塾に通い同じテキストで学んでも、成績がどんどん上がる人とあまり上がらない人がいます。気力が失せたり、悩みを抱えていたりすると、成績が上がらないばかりか下がってしまう人も何人かいます。
- (2)開倫塾は 32 年以上も続いており、私も開倫塾の先生方も様々な経験をしました。そこで、塾生の皆様には効果の上がる勉強の仕方を一日も早く身に付けてもらい、学力をどんどん向上させてもらいたいと希望しています。
- (3)今の成績には全く関係なく、だれにでも、どこででも、すぐに簡単にできる最も効果の上がる勉強の仕方が音読です。
- (4)音読をあまりしたことのない人ほど、音読をし始めると「アッ」という間に驚くほど成績が上がります。成績があまりよくない科目ほど、「劇的」に成績が上がります。
- (5)この文章は、10月11日に執筆し、10月12日から開倫塾の全校舎で紹介されます。今から11月の模擬試験までここに書いた通りに音読練習をすれば、必ず偏差値は大幅に向上します。11月の定期テストでも限りなく 100 点に近い得点ができます。どうです。挑戦してみませんか。

Q：塾長がそこまでおっしゃるのなら、ぜひやってみたいです。どのように行えばよいのですか。

- A：(1)音読は、英語・国語・社会だけでなく、理科・数学にも絶大な効果があります。学校の定期テストに出題される音楽・美術・技術家庭・保健体育や英検・漢検・言語力検定などの検定試験にも絶大な効果があります。全科目に役に立ちますから、全部の科目でやってみて下さいね。
- (2)ではどのように行えばよいのか、音読の仕方をお伝えします。
- (3)まず、何を「音読」するかを決めます。①学校の教科書、②開倫塾のテキスト、③学校や開倫塾の授業のノート、④単語帳、⑤今までにやったことのある問題集とその解答・解説書、⑥参考書、⑦今までに受けた模擬試験の問題とその解答・解説集などは必ず「音読」すべきもの、絶好の「音読」の対象と私は考えます。要するに、今までに勉強した中で「これを徹底的に音

読するぞ」という教材をはっきり決めて下さい。

(4)そのあとは、時間がある限り、自分で音読するぞと決めた教材をスミからスミまでゆっくりと声を出して読みます。正確にスラスラ読めるようになるまで、何回でも何十回でも声を出して読みます。教材に書いてあることはスミからスミまで覚えてしまうくらいまで、何回でも何十回でも、できれば何百回でも声を出して読んで下さい。

Q：エッ、何百回も読むのですか。

A：(1)はい。その通りです。私の尊敬する同時通訳の国弘正雄先生は、中学校時代に英語の教科書をスミからミスまで 500 回以上ひたすら音読し、英語の基礎を身に付けたそうです。

(2)弁護士をしていた私の弟は、法律の本を何十回も何百回も音読し、司法試験に 10 番以内で合格したようです。

教材をスミからスミまで何十回も何百回も音読することは、英語・国語・社会に抜群の効果をもたらし、理科・数学にもとても役に立ちます。理科・数学の教科書やノート、参考書や問題集を声を出して徹底的に読み込んでみて下さい。今までに勉強したことがどんどん、どんどん正確に身に付き、成績が急上昇しますよ。

Q：書いてあることがわからなかったら、どうしたらよいのですか。

A：辞書をどんどん引いて、調べた意味をメモし、そのメモを何回も音読して意味もすべて覚えてしまいましょう。

Q：音読していることは覚えたほうがよいのですか。

A：はい。覚えたほうがよいです。ただ、まずは正確にスラスラ読めるようになるまで繰り返し読んでみましょうね。これだけでも、模擬試験偏差値 55 以上・60 以上、定期テスト 100 点が取れますよ。

スラスラ読めるようになったら、少しでもよいですから書き取り練習もして下さいね。これで、もうバッチリです。では、この文章を読んだ今日から「音読」をしてみましょう!!

— 2011 年 10 月 10 日記 —